



僕にとって平成という時代

柳原 昭三

先月末で平成時代が終わって、今月から令和になりました。
僕にとって平成時代は、いろんなことがありました。
悲しいことは、平成2年に父親が亡くなり、平成14年と平成30年には、仕事仲間であった友人が二人も亡くなってしまいました。
悔しかったことは、平成9年に股関節手術をしたら、二次障害で歩けなくなって、車イス生活になったことで、歩けた当時のことを思い出すと今でも悔しくてたまりません。

ビックリしたことは、平成10年頃の国際福祉機器展に行った時に、車イスを自動で車に収納ができる装置があることにビックリしました。

シンガーソングライターの原田義雄さんが、僕の作った二つの詩に曲を付けてもらったことがビックリしました。

嬉しかったことは、平成21年と平成23年に詩集を出版ができたことです。もし、僕の詩を読んで感激をしてくれて、明日の生きる勇気をもらえると喜んでくれる人がいるなら、これこそ嬉しいことです。

平成の思い出

亀井 賢太郎

僕にとって平成は、激動の時代となりました。
平成6年にあさやけ作業所に入所して、6年後に重度身体障害者グループホーム「一步」に入居しました。また6年後に自立生活「1人暮らし」を始めました。1人暮らしはアパートで6年位過ごした後、車椅子生活をしたいと思い集合住宅に移りました。

あさやけに入るまではずっと家に居て、母に面倒を見て貰いながら過ごしていました。母（家族）の時と、他人（職員さんやヘルパーさん等）との生活の違いは大きかったです。40年以上社会との繋がりが無く、知り合いや友人が1人も居ませんでした。あさやけに入った後社会との繋がりが出来、大勢の友達や知り合いが出来た事がとても嬉しかったです。これが平成の思い出です。

僕にとって新しい元号「令和」は、どんな時代になるのでしょうか。まだ始まったばかりなので分かりませんが、良い時代になって欲しいものです。

短歌

竹内 桃子

— 水割りを飲み交わしながら
— 障害者運動論を互いに語る
— どのような人間でも役に立つと
— いろいろなおっぱだし牧師は語る



とうたす通信

発行 あさやけ風の作業所内 とうたす班
〒187-0033 小平市川島町3-8

TEL 042(349)2366 toutasu@asayake.or.jp
http://www.asayake.or.jp/kaze.html
No.316 2019年5月20日

印刷のことは
あさやけ風の作業所

とうたす班にご相談へ

- ・原稿入力・編集・印刷・製本
- ・ポスター作成・印刷
- ・自分史・詩集・短歌集・俳句集（等）
- ・年賀状作成・印刷・名刺作成・印刷

私達の仕事のモットー

- ・親切・ていねい思い通りイメージに近づけます。
- ・手書きの原稿でもOK
- ・少量でもOK（1冊から・1枚から）OK

社会福祉法人ときわ会
あさやけ風の作業所
小平市中島町3-8
TEL 042-349-2366
FAX 042-346-6609

e-mail
toutasu@asayake.or.jp

